

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【公開番号】特開2024-136161(P2024-136161A)
【公開日】令和6年10月4日(2024.10.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-186
【出願番号】特願2023-47167(P2023-47167)
【国際特許分類】
 G 0 6 F 2 1 / 5 5 (2 0 1 3 . 0 1)
【 F I 】
 G 0 6 F 2 1 / 5 5

10

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月24日(2025.3.24)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【0049】

なお、図4で説明した、悪性サイト生存期間予測システムの処理フローは、一例であって、これに限定されない。

<フロー例：悪性サイト観測>

図5は、実施例1の悪性サイト生存期間予測システム101が実行する悪性サイト観測処理（上述のステップ402）の一例を説明するフローチャートである。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0063
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0063】

30

なお、図5で説明した、悪性サイト観測処理の方法は、一例であって、これに限定されない。

<フロー例：生存期間予測>

図6は、実施例1の悪性サイト生存期間予測システム101が実行する生存期間予測処理の一例を説明するフローチャートである。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0105
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0105】

40

なお、図10で説明した、実施例2に係る悪性サイト生存期間予測システムの構成は、一例であって、これに限定されない。

<フロー例：観測間隔策定>

図11は、実施例2の悪性サイト生存期間予測システム1001が実行する観測間隔策定処理の一例を説明するフローチャートである。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 1 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 1 9 】

なお、図 1 1 で説明した、観測間隔策定処理の方法は、一例であって、これに限定されない。例えば、観測結果や外部情報に変化があった場合に観測スパンを短縮してもよい。

<フロー例：性質予測>

図 1 2 は、実施例 1 の 悪性サイト生存期間予測システム 1 0 0 1 が実行する性質予測処理の一例を説明するフローチャートである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 2 6 】

一方、上述の確認の結果、追加の観測結果があった場合（ステップ 1 2 0 4：Y e s）、性質予測プログラム 1 0 1 3 は、ステップ 1 2 0 5 へ進む。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 3 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 3 3 】

なお、図 1 2 で説明した、性質予測処理の方法は、一例であって、これに限定されない。

<フロー例：バックグラウンド予測>

図 1 3 は、実施例 1 の 悪性サイト生存期間予測システム 1 0 0 1 が実行するバックグラウンド予測処理の一例を説明するフローチャートである。

10

20

30

40

50